

平成16年 3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年 2月13日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社
(URL http://www.smm.co.jp/)

(コード番号: 5713 東・大)

代 表 者 代表取締役社長 福島 孝一
問い合わせ先責任者 経理部財務決算担当課長 中山 靖之

(TEL (03) - 3436 - 7926)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
 - ・ 連結子会社数 40社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 6社
 - 連結 (新規) 2社 (除外) 1社 持分法 (新規) - 社 (除外) - 社

2. 平成16年 3月期 第3四半期 の業績概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満四捨五入)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 (当 期) 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年 3月期 第3四半期	280,914 -	14,130 -	15,114 -	10,607 -
15年 3月期 第3四半期	- -	- -	- -	- -
(参考) 15年 3月期	355,242	16,593	14,559	1,172

	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	潜在株式調整後1株当たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益
	円 銭	円 銭
16年 3月期 第3四半期	18 58	-
15年 3月期 第3四半期	-	-
(参考) 15年 3月期	2 05	-

(注) 前年同四半期は四半期業績の概況の開示を行っていないため、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年 3月期 第3四半期	502,133	240,100	47.8	420 59
15年 3月期 第3四半期	-	-	-	-
(参考) 15年 3月期	470,774	223,341	47.4	391 14

3. 平成16年 3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	370,000	21,000	15,000	26 27

※上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

1. 経営成績および財政状態

(1) 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

(単位: 億円) []内は単独 < >内は連単倍率

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成16年3月期第3四半期	2,809 [2,032] <1.4>	141 [109] <1.3>	151 [103] <1.5>	106 [65] <1.6>
(参考)平成15年3月期	3,552 [2,465] <1.4>	166 [113] <1.5>	146 [99] <1.5>	12 [88] <->

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)の当社グループを取り巻く事業環境につきましては、資源部門、金属および金属加工部門において、円相場が上半期の終盤に急激に上昇し、その後も円高基調が継続しておりますものの、一方で、ニッケル、銅、亜鉛および金の海外相場は、下半期に入り騰勢を強めてまいりました。電子材料および機能性材料部門においては、世界的に半導体市場が回復傾向にあり、下半期に入りましても季節要因などによる落ち込みは見られず、事業環境は堅調に推移いたしました。

このような状況のもとで、本年度を最終年度とする「中期経営計画」に基づき、事業構造改革とコスト構造改革に取り組んでまいりました結果、当社グループの当第3四半期売上高は2,809億円、営業利益は141億円、経常利益は151億円、純利益は106億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期末の総資産は、コーラルベイニッケル(株)の新規連結、銅増産基盤整備、2層めっき基板製造ライン増設などの事業構造改革関連の設備投資および投資有価証券の時価評価などにより5,021億円と前連結会計年度末に比べ314億円増加いたしました。

また、株主資本は2,401億円と前連結会計年度末に比べ168億円増加し、株主資本比率は47.8%となりました。

(3) 業績予想(連結)に関する定性的情報等

わが国経済につきましては、輸出や設備投資に主導される形で緩やかながら景気回復の傾向を辿ってまいりましたが、雇用情勢と個人消費が依然低迷した状態にあり、為替相場もさらなる円高進行が懸念されるなど、今後も不透明な状況が続くであろうと思われまます。また、世界経済に大きく影響を与える米国経済の回復動向にも注視が必要な状況であります。

当第3四半期業績は、概ね予想した範囲の進捗となっておりますが、以上のとおり予断を許さない事業環境でありますので、引き続き「中期経営計画」の目標の達成に向け努力し、一層強靱な企業体質作りと収益向上を図ってまいります。平成16年3月期の通期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の連結業績は、平成15年9月中間期決算発表時にお知らせいたしました予想を達成できるものと見込んでおります。

2. 四半期連結（要約）貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第3四半期 (H15/12)	前連結会計年度 (H15/3)
（ 資 産 の 部 ）		
流 動 資 産	186,222	173,226
現金および預金	22,835	14,029
受取手形および売掛金	66,395	59,648
たな卸資産	62,684	68,004
その他の他	35,519	32,684
貸倒引当金	1,211	1,139
固 定 資 産	315,911	297,548
有 形 固 定 資 産	191,631	169,373
建物および構築物	60,688	62,238
機械装置および車両・運搬具	62,373	65,706
土地	29,478	29,756
その他の他	39,092	11,673
無 形 固 定 資 産	4,723	5,575
投資その他の資産	119,557	122,600
投資有価証券	113,854	105,525
繰延税金資産	886	12,747
その他の他	6,778	7,215
貸倒引当金	1,371	1,518
投資損失引当金	590	1,369
資 産 合 計	502,133	470,774
（ 負 債 の 部 ）		
流 動 負 債	139,567	137,281
支払手形および買掛金	30,570	28,463
短期借入金	60,240	65,329
一年以上償還予定社債	10,000	10,000
その他の他	38,757	33,489
固 定 負 債	113,964	104,155
社 債	46,000	46,000
長期借入金	38,114	30,470
退職給付引当金	14,896	14,298
その他の他	14,954	13,387
負 債 合 計	253,531	241,436
（ 少 数 株 主 持 分 ）		
少 数 株 主 持 分	8,502	5,997
（ 資 本 の 部 ）		
資 本 金	88,355	88,355
資 本 剰 余 金	81,185	81,184
利 益 剰 余 金	71,935	64,183
その他有価証券評価差額金	10,544	2,217
為替換算調整勘定	11,435	7,763
自己株式	484	401
資 本 合 計	240,100	223,341
負債、少数株主持分および資本合計	502,133	470,774

3. 四半期連結（要約）損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第3四半期 (H15.4～15.12)	前連結会計年度 (H14.4～15.3)
売 上 高	280,914	355,242
売 上 原 価	244,007	303,478
売 上 総 利 益	36,907	51,764
販売費および一般管理費	22,777	35,171
営 業 利 益	14,130	16,593
営 業 外 収 益	5,707	6,690
受取利息および受取配当金	761	1,074
持分法による投資利益	4,239	3,400
そ の 他	707	2,216
営 業 外 費 用	4,723	8,724
支 払 利 息	1,603	2,533
そ の 他	3,120	6,191
経 常 利 益	15,114	14,559
特 別 利 益	5,710	3,743
特 別 損 失	3,339	25,807
税金等調整前当期純利益または純損失（ ）	17,485	7,505
法 人 税 等	6,644	6,426
少 数 株 主 利 益	234	93
当 期 純 利 益 ま た は 純 損 失 （ ）	10,607	1,172

4.セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

(単位:百万円)

	当 第3四半期 (平成15年4月1日～平成15年12月31日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その 他 部門	計	消 去 または全社	連 結
売上高および 営業利益								
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,678	156,437	99,317	11,400	4,082	280,914	—	280,914
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	6,760	35,096	4,700	9	1,532	48,097	△ 48,097	—
計	16,438	191,533	104,017	11,409	5,614	329,011	△ 48,097	280,914
営業費用	14,037	183,896	100,043	11,410	5,444	314,830	△ 48,046	266,784
営業利益	2,401	7,637	3,974	△ 1	170	14,181	△ 51	14,130

	前 連結会計年度 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)							
	資源部門	金属および 金属加工部門	電子材料および 機能性材料部門	住宅・建材 部門	その 他 部門	計	消 去 または全社	連 結
売上高および 営業利益								
売 上 高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	15,566	186,442	127,788	16,456	8,990	355,242	—	355,242
(2) セグメント間の 内部売上高 または振替高	9,106	39,901	5,135	285	3,385	57,812	△ 57,812	—
計	24,672	226,343	132,923	16,741	12,375	413,054	△ 57,812	355,242
営業費用	21,990	218,017	128,805	17,093	11,740	397,645	△ 58,996	338,649
営業利益	2,682	8,326	4,118	△ 352	635	15,409	1,184	16,593

(注) 事業区分の方法および各区分に属する主要な製品または事業の内容
企業集団が採用している利益センター区分を基礎に、製品の種類、性質および製造方法などを勘案し区分しております。

事業区分	主 要 製 品 等
資源部門	金銀鉱、銅精鉱および電気銅、地質調査等
金属および金属加工部門	電気銅、電気金、ニッケル、伸銅品等
電子材料および機能性材料部門	エレクトロニクス材料、電子部品、機能性材料
住宅・建材部門	軽量気泡コンクリート(ソ®レックス)、住宅等の設計施工等
その他部門	原子力エンジニアリング等